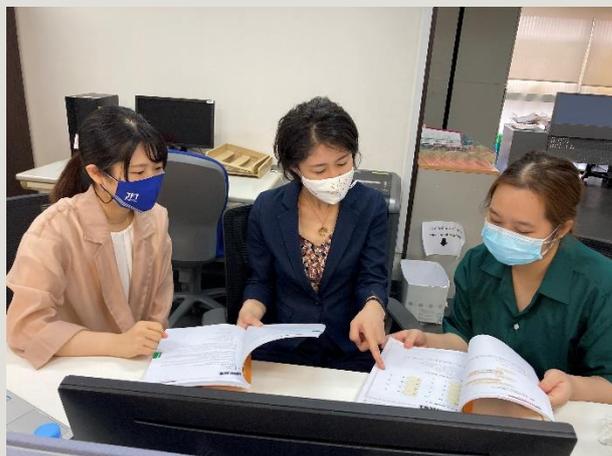


2022年度 海外派遣 生活日本語コーディネーター 募集のお知らせ

2022年2月4日（金）応募締切



国際交流基金では、日本での生活・就労を目指す日本語学習者の支援の為、主に東南アジアの国際交流基金海外拠点に「生活日本語コーディネーター」を派遣しています。

主な業務

- ・ 現地の日本語教育機関の実態調査
- ・ 日本語教材『いろどり 生活の日本語』の導入支援
- ・ 在留資格「特定技能1号」の申請に使える「国際交流基金日本語基礎テスト」(JFT-Basic)の普及活動 等



派遣予定国（予定） ※変更の可能性があります

- ・ タイ
- ・ フィリピン
- ・ ミャンマー
- ・ ベトナム
- ・ インドネシア
- ・ カンボジア 等

派遣予定時期

2022年 春以降

※感染症拡大状況、査証取得状況に応じて

詳しくはWEBで！

www.jpf.go.jp/j/about/recruit/n_coordinator2022.html

生活日本語コーディネーター

検索



お問い合わせ

国際交流基金 日本語第2事業部 企画開発チーム
生活日本語コーディネーター派遣担当
Eメール：nk_coordinator@jpf.go.jp

生活日本語コーディネーター募集について

国際交流基金（以下、JF）では、「生活日本語コーディネーター」を募集します。生活日本語コーディネーターは、2019年4月施行の在留資格「特定技能1号」で来日を希望する日本語学習者が、日本での生活・就労に必要な日本語を、円滑かつ効率的に習得できる学習環境の整備活動に従事します。

派遣先では、JFが派遣する日本語専門家と連携・協力して、支援対象機関の日本語教育に関する現状調査（機関訪問、ヒアリング、情報収集）や、JFが開発した、日本語教材『**い**ろどり **生**活の **日**本語』の紹介・導入支援を行います。また「特定技能1号」の申請に使える「国際交流基金日本語基礎テスト」（JFT-Basic）の普及のための広報活動を行います。

応募・選考の流れ



派遣国、人数等

派遣国	タイ、フィリピン、ミャンマー、ベトナム、インドネシア、カンボジア 等 ※変更の可能性がありますので、最新の情報は、JFウェブサイトでご確認ください。
募集人数	合計10名程度
応募締切	2022年2月4日（金曜日）

募集内容・待遇

任期	通常2年間
応募資格・要件	<ol style="list-style-type: none">① 日本国籍を有し、日本語を母語とする者② 2021年12月1日時点で、満65歳未満の者③ 2021年12月1日時点で、4年制大学卒業以上の学歴を有する者 且つ以下a)~c)のいずれかを満たしている者<ol style="list-style-type: none">a) 大学または大学院で日本語教育を主専攻/副専攻として修了した者b) 日本語教育能力検定試験に合格した者c) 文化庁国語課への届出を受理された日本語教員養成研修実施機関・団体による日本語教師養成講座（420時間以上）を修了した者④ 基金が別途指定する派遣前研修に参加できること（2022年4月下旬予定） など（詳しくはウェブサイトをご覧ください） <p>※ 日本語教授経験があることが望ましい ※ 語学力については必須要件ではないが、日常生活に必要な英語または現地語の能力を有することが望ましい</p>
待遇	JF規定による旅費、報酬等（基本報酬、在勤加算、住居経費、研修補助費等）を支給。家族の帯同不可。共済制度あり。

詳細はウェブサイトをご覧ください ↓

https://www.jpj.go.jp/j/about/recruit/n_coordinator2022.html